

学校長あいさつ

本庄市立秋平小学校 校長 木村健治

本校は、明治7（1874）年、秋山村に秋山小学校、小平村に平川小学校として創立されました。その後、明治22（1889）年に、秋山・小平の二村が合併し秋平村となり秋平尋常小学校が設立され、明治32（1899）年には、校舎を現在地に新築しました。昭和30（1955）年の町村合併により、児玉町立秋平小学校と改称し、平成18（2006）年には、旧本庄市と旧児玉町の合併により、本庄市立秋平小学校と改称されました。また、平成23（2011）年、市内通学区域の変更に伴い、旧本泉小学校区的全児童の秋平小学校への通学が始まり、現在に至っています。

本校は、創立140年の長き歴史と伝統のある地域の学校として、これまでの良き伝統を継承するとともに、保護者の願いや地域の期待に応え、郷土を愛し、21世紀をたくましく生きる秋平・本泉の子どもたちの育成を目指した学校経営を進めております。子どもたちの輝く未来のために、明るく元気な学校づくりに向け、教職員一同、精一杯努めてまいります。

皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年度 学校経営について

本庄市立秋平小学校長 木村健治

【学校経営に対する基本的な考え】

学校は、法に則って、よりよく子どもを教育する場（教え育む場）であり、私たちは、教育公務員として、子どもたちの健全育成（人格の完成）を目指し、充実した教育活動を推進することが、重要な使命であり職務であると考えている。その上で、「人皆に美しき種子あり」（安積得也）の言葉が教えてくれるように、一人ひとりの子どもは、それぞれにすばらしい「種子」を持っていること。その子どもは、それぞれの保護者にとってかけがえのない存在であること。このことを常に意識して、日々の教育実践に当たらなければならないと考える。

さらに、秋平小学校には、139年（本年140年目）にわたる長き歴史と伝統がある。また、平成23年度（本年で4年目）からは、本泉小学校の休校、秋平小学校との統合に伴い、旧本泉小学校の歴史と伝統を受け継いでいく部分もある。このことを踏まえ、保護者の願いや地域の期待に応えながら、伝統ある秋平小学校の教育活動を継承するとともに、郷土を愛し、21世紀をたくましく生きる「秋平・本泉の子どもたち」の育成を目指した、学校経営を進めていかなければならないと考える。

【校訓】

自学・自律（→ 自立）

1 学校教育目標

○進んで学ぶ子（知） ○心豊かな子（徳） ○じょうぶな子（体）

学校教育目標は、6年間の小学校教育や生活を通して、子どもたちに身につけさせていかなければならない重要な目標であり、全ての教育活動は、学校教育目標具現化のための諸活動であると捉えることができる。従って、学校における教育活動は、常に学校教育目標と関連付けていかなければならない。また、今回の新学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」をより一層育むことをねらいとし、知・徳・体のバランスのとれた力を身につけさせていくことが重視されている。そのために、基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断や行動し、よりよく問題を解決する資質や能力といった「確かな学力」、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな人間性」、そして、たくましく生きるための基盤となる「健康・体力」の3点をしっかり身に付けさせていかなければならない。

そこで、本校では、それら3つの力をバランスよく身に付けた児童の育成を目指し、上記のような「進んで学ぶ子（知）」、「心豊かな子（徳）」、「じょうぶな子（体）」の学校教育目標を設定する。

2 学校経営方針 「実動と信頼」

秋平小のよき校風を継承しつつ、今日的課題に積極的に取り組み、教職員相互の連携と協力により、子どもたちを主役とした学校、魅力と特色のある学校、安全・安心で信頼される学校、明るく元気な学校を目指す。そのために、実動（自らが動き、見て、触れて、感じて、実践する）を大切に、信頼関係を基盤とした学校経営を推進する。

- (1) 学校教育目標を全ての教育活動に浸透させ、その実現を目指す学校経営を推進する。
〈教育目標の具現化〉
- (2) 意欲的に研修や授業公開に取り組み、教師としての資質や指導力の向上を目指す学校経営を推進する。
〈教師力の向上〉
- (3) 児童の確かな学力の定着、心の教育の推進、体力向上を目指す学校経営を推進する。
〈基礎・基本の定着〉
- (4) 生きる力と豊かな心を育むための教育活動を創造し、実践を目指す学校経営を推進する。
〈人間力の向上〉
- (5) 温かい言語環境の中で、お互いの個性や生き方が認められ、尊重される教育の創造を目指す学校経営を推進する。
〈人権教育の推進〉
- (6) 学校・家庭・地域との連携の充実を図り、保護者や地域の学校教育活動に対する理解を深め、さらなる信頼関係の構築を目指す学校経営を推進する。 〈信頼関係の確立〉

3 目指す学校像

「地域との絆を深め、進んで学ぶ児童の育成を目指す、明るく元気な学校」

- 子どもたちが何事にも意欲的に取り組み、学び合い、支え合い、高め合う学校。
- 教職員が信頼し合い協力し合い、切磋琢磨する学校。
- 保護者・地域との絆を大切にし、保護者・地域の信託に応える学校。
- 明るく清らかな学び舎で、地域に開かれた安全・安心な学校。

4 目指す児童像 「あきおとひらりのような地域に誇れる秋平っ子」

- 人の話をしっかり聴ける子（進んで学ぶ子）
 - ・課題について進んで学習する子
 - ・お互いの考えを伝え高め合える子
- 明るいあいさつと感謝のできる子（心豊かな子）
 - ・進んであいさつや返事をする子
 - ・友だちや物を大切にする子
- 友達と元気に外遊びをする子（じょうぶな子）
 - ・体を動かし、記録に挑戦する子
 - ・食事や健康について考え行動する子

5 目指す教師像

「3 S (smile・speed・spirit) 3 C (color・control・communication) を持った教師」

- 常に研究と修養に励み、指導技術を高め、児童の学力向上に努める教師。
- 教育に対する使命感と責任感、誇りをしっかり持つ教師。
- 報告・連絡・相談・見届を基本に、組織の一員として学校経営に参画する教師。
- 同僚や保護者・地域との連携や絆を深め、信頼される教師。

6 学校経営・学習指導等の重点事項

(1) 児童の学力向上

- 授業でのねらいの明確化とまとめの充実
- 家庭学習（自主学習）の定着と読書活動の推進

(2) 規律ある態度の定着

- 学習規律「授業の約束」の徹底
- あいさつ運動の推進とくつそろえの徹底

(3) 学校・家庭・地域との連携

- 学校応援団の効果的な活用と連携
- 家庭学習や読書など保護者と連携した取組の充実

7 学校教育目標具現化のための方策（主な努力事項・具体的な実践）

進んで学ぶ子（知）	心豊かな子（徳）	じょうぶな子（体）
主 な 努 力 事 項		
<p>(1) 確かな学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業を大切に、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、自ら学ぶ意欲の向上を図る。 ・わかる喜びを味わわせ、学力向上を目指した指導方法の工夫改善を図る。 <p>(2) 児童を生かす学級経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が生きがいと喜びを感じる学級づくりを目指す。 ・教え合い、学び合う集団づくりを目指す。 <p>(3) 学習習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で学習規律の徹底を図り、学習への意欲や態度を高める。 ・家庭と連携し、家庭学習の充実を図り、学習習慣の確立を目指す。 	<p>(1) 規律ある態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12項目の目標の指導の継続と達成状況の向上を図る。 ・学校と家庭とが一体となった規律ある態度の育成を図る。 <p>(2) 人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教育活動を通して、人権教育の意識の高揚を図る。 ・自他を尊重し、人権感覚と豊かな人間性を育む。 <p>(3) 心の教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を充実させ、道徳的心情の育成を図る。 ・基本的な生活習慣や社会生活上のモラルを育成する。 	<p>(1) 体力向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わわせる授業の工夫改善を図り、運動好きな児童を育成する。 ・自ら運動する意欲を培い、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する。 <p>(2) 健康教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって心身ともに健康で、安全な生活を実践できる児童を育成する。 ・自分の体の様子を知り、健康の保持増進ができる資質や能力を育成する。 <p>(3) 安全教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命を尊重し、安全な生活を営む資質や能力を育成する。 ・危険を察知し、安全な行動・態度がとれる児童を育成する。
具 体 的 な 実 践		
<p>① 教材研究と準備に努め、わかる授業を展開する。</p> <p>② 児童の考えを深め、引き出す発問・指示・板書の工夫に努める。</p> <p>③ 具体物や教育機器の効果的な活用を図る</p> <p>④ ノートや記録を確かめ、評価を授業に生かす。</p> <p>⑤ 問題解決的学習を進め、個への的確な指導を行う。</p> <p>⑥ 家庭学習や宿題の充実を図る。</p>	<p>① 道徳・特別活動の指導計画の完全実施に努める。</p> <p>② 音楽・読書・絵画等を通して豊かな感性を育てる。</p> <p>③ 栽培や飼育を通して、人権尊重と優しい心を育てる。</p> <p>④ あいさつの励行と正しい言葉づかいに努める。</p> <p>⑤ 決まったことを尊重し、守り、実践する。</p> <p>⑥ 読書活動の推進を図る。</p>	<p>① ねらいをおさえ、運動量に溢れた授業を展開する。</p> <p>② 体育的活動を意図的・計画的に実践する。</p> <p>③ 集団遊びの励行と仲間づくりを意図的に推進する。</p> <p>④ 用具の安全確認と後始末の習慣の定着を図る。</p> <p>⑤ 諸検査の記録を活用し、健康増進への関心を高める。</p> <p>⑥ 早寝早起き朝ごはんの実践。</p>

8 本年度の学校研究領域 「理科（学力向上）」

【研究主題】「主体的に学び、進んで表現し、考えを深めることができる子」

～観察・実験を通して科学的な見方や考え方を養う理科の学習指導～